

平成25年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校2年）

■分析と今後の指導上の工夫

・ 学校や家での学習

授業への取り組みについて、「グループなどの話し合いに自分から進んで参加していますか」では、全員が肯定的な回答をしていることから、他者と関わり合いながら学習することに意欲的な様子がうかがえる。また、「宿題はきちんとやっていますか」についても全員が肯定的な回答をしており、家庭での協力のもと、学習習慣もついてきたと思われる。今後も授業で積極的にグループ活動を取り入れるとともに、復習の大切さなどを理解させ、家庭学習も充実させたい。

・ 毎日の生活

「あいさつをしていますか」については全員が「はい」と答えている。さらに、学校での生活にも全員が満足していると答えており、自己肯定感の高さが伺える。多くの児童が命の大切さ、思いやりの心、きまりや時間を守ることの大切さなどについて理解している。

1日の読書量は平日では30分くらい読んでいるが、休みの日は読む時間が短くなっている。読み聞かせやブックトークを通じて、本の楽しさを伝えるとともに一人読書の習慣化を図りたい。

「困っている友だちに自分から進んで手助けができる。」について肯定的に答えた児童が若干減っているため、今後は、道徳や学級活動の時間を活用し、正しいと思うことを進んで実践できる正義感や勇気、思いやりの心を育てていきたい。

・ 携帯電話

「自分の携帯電話を持っている」についての肯定割合は27.8%と本年の市の肯定割合と昨年の本校の肯定割合を上回っている。ただ、「携帯電話を使う時のルールを家の人と決めている」についての肯定割合は市の肯定割合より低いので、携帯電話を使用する際に気をつけることやルールを守ることの大切さなどについて話し合うとともに、保護者の方にもフィルタリングの大切さなどを啓発していきたい。

・ 体力や健康、食事、安全

体力についてはどの項目についても肯定的な割合が高く比較的良好な結果と言える。今後も体育の時間において体を動かすことの楽しさを味わわせるとともに、業間、昼休み、朝の登校後の時間などに外に出て体を動かす機会を作っていくようにしたい。

健康や食事についても、全員が毎日朝ごはんは食べてきており、よい食習慣がついてきているようである。好き嫌いについても、ほとんどの子がきちんと食べている。

安全については、「交通事故に合わないよう、交通ルールを守っていますか」「知らない人から自分の安全を守るようにしていますか」「自分や周りの人たちの安全に気をつけるようにしていますか」という質問に対して全員が肯定的な回答をしており、安全意識の高さが伺える。